

平成 24 年 11 月 21 日

国分寺市長 星野 信夫 様

国分寺市環境基本計画市民ワークショップ
進行役 龍神 瑞穂

国分寺市環境基本計画市民ワークショップの検討結果について（報告）

本ワークショップ（以下、「WS」という）では平成 24 年 5 月から 10 月までの半年間、月 1 回計 6 回開催し、毎回約 16 名、延べ 95 名が参加しました。

各回、緑・水・生物などテーマを区切って、班ごとにテーマに沿って現状や課題について、多角的な視点で意見交換を行い、望ましい将来像を設定しました。

それらの内容については別添の WS ニュースをご参照ください。

下記は WS の意見から、特に重点事項として取り上げまとめた内容となっています。

各テーマごとの意見はもちろん、下記重点事項については、次期環境基本計画に優先的に盛り込んでいただきたく要望します。

環境基本計画は環境の保全・創造・回復を推進するための環境に係る総合計画です。

次世代の子ども達へ健康で恵み豊かな暮らしを享受できる環境を継承していくためにも、環境負荷の少ない持続可能な循環型社会を目指し、環境施策の推進に取り組んでいただきたいと思えます。

一方で厳しい社会経済状況下、市民・事業者・市との協働がますます求められる時代となっています。そうしたことから、本計画は行政だけのものではなく、市民や事業者等にも親しみある実効性の高い計画となるよう強く要望します。

記

《10 の重点事項》

<緑・水・生物>

1. 生物多様性保全のため、生物の生息環境づくりとして、地球温暖化防止のため、農地と崖線緑地を保全する施策を講じること。また、事業の実施にあたっては、市民との協働や表彰制度の創設も配慮すること。

(理由)

生物多様性を確保するには、生物が生きられる環境として、農地や緑地が必要です。農地や緑地は雨水の保水や地下水の涵養、地球温暖化防止、良好な景観形成、さらには延焼遮断や災害時の一時避難場所など多面的な機能を持ちあわせていますが、相続や開発によって年々減少しています。そこで特に農地と崖線緑地の保全策を講じる必要があります。

2. 生物多様性の確保、災害時の緊急通水、市民が憩える水辺空間の創出などを図るため、野川の親水化整備と砂川用水・恋ヶ窪用水の保全、復活を進めること。加えて、野川上流の清水川(お鷹の道)や姿見の池においては、さまざまな生物(ホタルなど)が復活生息できる環境づくりを実行すること。

なお、砂川用水については都市計画道路国3・2・8号線事業で通水を阻害しないこと。

(理由)

野川については、小金井市より下流部分の親水化整備が終わっているにもかかわらず、本市部分はコンクリートの3面貼の状態のままになっています。

また、砂川用水や恋ヶ窪用水は江戸時代から新田開発の重要な基盤として、農と人々の暮らしを支えてきましたが、昭和30年代以降、都市化による農地や水田の減少、上水道の整備などによって農業用水としての使命を終え、その価値が見失われてきました。

生物多様性の確保、災害時の緊急通水、市民が憩える、潤いのある水辺空間を創出するため、野川の親水化整備、砂川用水・恋ヶ窪用水の保全、復活を急ぐ必要があります。

また、用水路については、歴史的文化遺産としての位置づけも明確にする必要があります。

なお、砂川用水については現在工事中の都市計画道路国3・2・8号線と交差するため、道路整備に当たっては通水を阻害しないよう格別の配慮が求められます。

<公害・食>

3. 化学物質による汚染(自動車排ガス、放射能、建築材料、化粧品、洗剤などを含む)から、生活空間・地下水を守るため、必要な調査・研究を進め、適切な情報提供を行うこと。

(理由)

アレルギー体質の子ども達が増えており、これらの原因を直ちに究明することは困難だ

としても、食べ物や衣服、建築材料、洗剤、化粧品など身のまわりに様々な化学物質が使用されている現実があります。また東日本大震災に伴う原発事故によって放射性物質が拡散し、食の安全性などが問題となっていることから、化学物質などの情報について、必要に応じてモニタリング調査・研究すること、市民に分かりやすく提供することが求められます。

4. 多面的機能を有する農地を残すため、都市農業を支援していく必要があり、地産地消を推進する必要があります。また、食の安全のため、有機農業を推奨するとともに、国分寺のブランド品創出・育成、道の駅を設置してPRに努めること。

(理由)

国分寺市は農地が比較的多く残っている自治体ですが、相続等によって年々減少しています。農地には雨水の保水、地下水の涵養、延焼遮断など防災機能、地球温暖化防止、良好な景観形成、延焼遮断や災害時の一時避難場所など多面的な機能があります。農地を保全するためには、市民の都市農業への理解、支援が必要となることから、市民への啓発、地産地消の推進、有機農業などの推進による国分寺ブランドの創出・育成、総合窓口として道の駅の設置などが求められます。

<道路・交通／景観・歴史>

5. 自転車の走りやすい専用道を整備し、同時に市民等への自転車の運転マナーとルール順守を徹底すること。

(理由)

自転車は手軽な移動手段として利用されていますが、市内の道路は狭く、自転車が通行可能な歩道が少ないにもかかわらず、自転車が狭い歩道を走行するなどの危険な一面もあります。しかしながら、自転車は、通勤や買い物などの際の自動車利用の転換を図る効果もあり、そのことで地球温暖化防止や排気ガスの削減にもつながります。このことから自転車の走りやすい環境を整備し、利用を促進するとともに、歩行者が安心して歩けるよう自転車の運転マナーとルールの順守の徹底指導が求められます。

6. 近世の新田開発、近現代の産業開発等の歴史をきちんと評価し、その歴史的景観や文化財を適切に保全・活用すること。

(理由)

古代の史跡武蔵国分寺跡のほかにも、用水路(跡)をはじめ、市内に現存する近世の新田開発や、近現代の産業開発(宇宙開発発祥の地、鉄道技術研究所など)などの歴史的景観や文化財を調査・評価し、適切に保全・活用していくことが求められます。

<人・ごみ>

7. 自治会および地域コミュニティを強化するため、地域ぐるみの活動(資源ごみ回収、防犯、防災など)をさらに推進すること。その際、世代ごとのニーズをくみとりながら進めるとともに、民生委員のサポートも行うこと。

(理由)

自治会加入率が4割を切っていますが、近年の国や地方自治体の財政事情から、地域のごみ問題は地域で行うことがますます求められる時代になっています。また、東日本大震災を契機に人の絆が見直されています。町内の清掃活動、資源物の集団回収、地域の見守りボランティア(パトロール)活動などを通じて、地域コミュニティの強化が求められます。

近年、いじめによる自殺が全国的に深刻化して問題になっています。こうした問題を解決するためには、教育委員会、学校関係者、警察のほか、地域住民等との連携も欠かせないことから、地域における人のつながり、コミュニティの強化を図り、いじめのない社会の実現を目指していく必要があります。

8. 環境負荷の少ない持続可能な循環型社会の実現、と同時に市予算の節減に取り組むため、積極的かつ大胆なごみ減量目標を定めること。またそれを実現するため、ごみの発生抑制の促進、生ごみたい肥化・分別の徹底の推進、環境教育・学習の充実、ごみ有料化の適切な実施を進めること。

(理由)

ごみの減量は焼却施設の更新問題にも関わる重要な課題です。更なるごみの減量を推進するには、まずは市が大胆なごみの減量目標・方針を定め、市民や事業者へ理解を求め、共通認識に立ち、ごみの発生抑制、ごみの減量の取組を進める必要があります。減量施策の柱としての生ごみたい肥化(自家処理を含む)の推進、分別の徹底、環境教育・学習の充実、が求められます。

また市民等へごみの減量の意欲を引き出すため、節減された予算は緑化事業など他の予算にも使えるような仕組みづくりが求められます。

<地球環境>

9. 市民のライフスタイルの見直しを促進するため、環境家計簿の活用などによる啓発活動、環境教育・学習の取組を充実させること。

(理由)

地球温暖化防止には市民のライフスタイルの見直しが必要不可欠なことから、そのきっかけづくりとして環境家計簿の普及をはじめ、市民セミナー、具体的な取組事例の情報提供などの啓発活動や小中学校での環境教育・学習の充実が求められます。

10. 公共交通の利用促進に向けた対策を行い、自家用車を減らし、地球温暖化防止を推進すること。

(理由)

地球温暖化防止策を目的に公共交通の利用促進に向けた対策として、路線バスや地域バスの拡大、ルートの見直し、自転車駐車場の整備による鉄道利用の促進などの対策が求められます。

■市民ワークショップ参加者（名簿掲載順）

	氏 名 ※敬称略
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

■市民ワークショップの開催状況

	日時	会場	テーマ	参加者
第1回	平成24年5月27日(日) 9時～12時	市役所	緑・水・生物	16名
第2回	平成24年6月17日(日) 14時～16時30分	ひかりプラザ	公害・食	16名
第3回	平成24年7月26日(木) 19時～21時40分	国分寺Lホール	道路交通・歴史・景観	13名
第4回	平成24年8月19日(日) 14時～16時30分	市役所	ごみ・人	19名
第5回	平成24年9月23日(日) 14時～16時30分	ひかりプラザ	地球環境	16名
第6回	平成24年10月21日(日) 14時～17時	市役所	まとめ(重点事項)	15名